

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0873200422		
法人名	聖北会 有限会社敬七商事		
事業所名	グループホーム すずらの里		
所在地	茨城県笠間市土師1283-252 (電話) 0299-45-8821		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成20年10月15日	評価確定日	平成21年1月28日

【情報提供票より】 (平成20年9月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年9月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤 21人, 非常勤 人, 常勤換算 21人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	1階建ての ~ 1階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	-
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,140 円		

(4) 利用者の概要(平成20年9月15日現在)

利用者人数	27 名	男性 5 名	女性 22 名
要介護1	8	要介護2	11
要介護3	6	要介護4	2
要介護5		要支援2	0
年齢	平均 83.6 歳	最低 66 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	立川病院 はぎのや歯科 笠間眼科
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人の母体が社会福祉施設や病院などを運営しており、地域に根付く介護事業を展開しようと積極的に活動している。
また、設置法人の医療機関と連携を図っており、利用者やその家族にとって何よりの安心となっている。
職員は利用者と共に日常的な外出や楽しみごとを共有し、居心地良い共用空間でゆったりと家庭的に暮らせるよう柔軟な支援をしている。
職員は利用者の立場に立ち、親切にやさしく思いやる態度で支援に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 地域密着型サービスとしての理念を見直すまでには至っていないので職員間で話し合い、作成・実践することを期待する。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 外部評価の意義や目的についての理解が不足しており、全職員で自己評価に取り組むまでには至っていないので、管理者や全職員で自己評価を行い、改善に向けた具体案の検討や支援に活かすための努力を期待する。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議を定期的には開催していないので2ヶ月に1回開催し、出された意見をサービスの質の向上に活かすことを期待する。 また、外部評価の改善課題への取り組みや改善状況も報告することが望まれる。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情の相談窓口や担当者を運営規定に明記するとともに、意見や苦情があった場合は管理者が対応し運営に反映している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 婦人会など地域ボランティアを受け入れるとともに関係施設と合同の夏祭りに地域の高齢者を招待し交流している。 地域の人々を招待するばかりではなく、地域行事に積極的に参加し地域の人々と利用者が交流する機会を多くつくることを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を利用者や家族にわかり易く掲示するなど周知を図っているが、地域密着型サービスとしての理念に見直すまでには至っていない。	○	地域密着型サービスとしての理念を職員で話し合い、ホームの役割を反映した理念を作成することを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は理念に基づいた実践で具体的に理念を示すよう心がけているが、全職員が理念を理解したうえでのサービス提供には至っていない。	○	ミーティング時管理者は職員のケアを評価し職員の意欲の高揚を図るとともに、理念の実践に日々努めることが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	婦人会など地域ボランティアを受け入れるとともに関係施設と合同の夏祭りに地域の高齢者を招待し交流している。	○	地域の人々を招待するばかりではなく、地域行事に積極的に参加し地域の人々と利用者が交流する機会を多くつくることを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義や目的についての理解が不足しており、全職員で自己評価に取り組むまでには至っていない。	○	自己評価は管理者や全職員で行い、改善に向けた具体案の検討や支援に活かすための努力を期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的には開催していない。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回開催し、出された意見をサービスの質の向上に活かすことを期待する。 また、外部評価の改善課題への取り組みや改善状況も報告することが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市の関係部門を訪問し、情報交換や助言を得るとともに事業所の理解や支援要請をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせて報告をしている	家族には病院の受診時や健康状態に変化が生じた場合など状況に応じて文書や電話で報告している。 利用者の現金出納帳の報告は、月1回郵送や面会時に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情の相談窓口や担当者を運営規定に明記するとともに、意見や苦情があった場合は管理者が対応し運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に各ユニットの職員配置を固定し、顔馴染みの職員による支援が継続できるように配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ユニットごとに月1回勉強会をしているが、段階に応じた研修計画を作成するまでには至っていない。	○	職員の力量に応じた段階別の研修計画を作成し、実行することが望まれる。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は近隣の同業者と交流し、サービスの質の向上に活かしているが、職員間で交流するまでには至っていない。	○	勉強会や相互訪問などで職員間の交流を図る機会をつくることを期待する。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に体験利用をするなど、ホームの雰囲気にならぬよう利用者や家族が納得したうえで利用を開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者の生活歴を把握しており、洗濯物をたたんでもらったり、一緒に散歩したり、料理の作り方を教えてもらったりして共に学び支えあう関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は入浴時間を利用者の希望に合わせてたり、利用者が食べたいメニューを取り入れるなど希望にそった支援をしている。 意思表示が困難な利用者の場合は、日々のかかわりのなかで思いや意向を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は利用者や家族等の意見を聴くとともに、日々の生活のなかで気付いた点や意見を取りまとめ、カンファレンスを開いて作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態の変化に即した随時の見直しをしているが見直した日付が漏れている。	○	見直した日付を記入することを提案する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族等の希望にそって通院支援や外泊支援をしている		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人理事長が医師であり、利用者は希望にそった適切な治療が受診できる体制になっている。 利用前からのかかりつけ医も受診できるよう複数の医療機関と関係を密にしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期における対応について利用開始の際に看取り同意書を交わし、家族にも説明をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は排泄支援や入浴支援の際は利用者のプライバシーを尊重し、誘導の声かけに十分配慮している。 また、書類などは保管庫で管理し、取り扱いに十分留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は利用者一人ひとりの体調に配慮するとともに、天気の良い日は散歩に出かけたり、食堂で演歌を聞いたり、各ユニットに出かけたりと利用者のペースで生活ができるよう支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は利用者の持てる力を把握し、テーブルを拭いたり配膳や下膳の手伝いをしてもらっている。 職員は利用者とともに食卓を囲みサポートしながら楽しく食事ができるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員は毎日入浴したい利用者の希望にも応じて支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者一人ひとりの生活歴を把握し、洗濯物をたたんだり食事の準備を手伝ってもらうなど、利用者の持っている力にあわせた役割や楽しみごとに取り組めるよう場面づくりを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣への散歩や買物に出かけている。 また、月1回ユニット毎の外出行事を支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事務室から玄関が見えにくい構造になっているため、利用者の安全を守るため中から鍵をかけている。 利用者は自分でロックを外し自由に外出している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練等を実施していない。	○	災害対策マニュアルを作成するとともに、年1回避難訓練を実施することを提案する。 また、消防署や地域住民の協力を得ながら実施することを期待する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者一人ひとりの栄養摂取量や水分量を把握するとともに記録し共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ユニットごとに共用空間を変えて造っており、食堂の隣が段差の和室だったり中庭だったり生活感を取り入れ、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の持ち込み品を制限せず、居心地よく過ごせるよう配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。